

生き生き にこにこ

# 国津っ子

平成 25 年 4 月 20 日 第 2 号

名張市立国津小学校通信

## 生き生き にこにこ 国津っ子

子どもたちの教育目標ですが、私たち職員も生き生きとし、にこにこしながら子どもたちにかかわっていきたくと思います。国津小学校の最終年度としてこれまでの集大成と、次への展望を持たせていくことが使命です。がんばります。

### 進んで取り組む子



### 素直で明るい子

【学年別児童数】

学年	1	2	3	4	5	6	合計
男	4	2	2	2	2	7	19
女	3	1	1	3	6	1	15
計	7	3	3	5	8	8	34
学級人数	7	6		13		8	34

### 仲良くできる子

学校大好き、友だち大好き、勉強が楽しい・・・そんな気持ちをベースにして、次への展望が持てるようになっていきたい。それには、保護者のみなさんと教職員がつながり合い、同じ方向で子どもに接していくことが大切だと思います。よろしくお願いします。



【地域別児童数】

	奈垣	神屋	羽根	吉原	百々	布生上	布生下	つつじ	夏見	百合丘	美旗	瀬古口	桔梗丘	青蓮寺	計
男	1	1	0	0	0	0	0	4	2	4	2	1	3	1	19
女	0	1	0	0	0	0	0	7	2	0	0	0	4	1	15
計	1	2	0	0	0	0	0	11	4	4	2	1	7	2	34

## よろしくお願いします

### 平成 25 年度 スタッフ 紹介

校長 雪岡 正明 教頭 高木 良一  
 1年担任 林 依子 2・3年担任 竹内 博之  
 4・5年担任 田中真理子 6年担任 田ノ上 諒  
 統廃合加配 岩崎 学 非常勤講師 福森久美子  
 養護 吉村加代子 事務 磯矢 愛子  
 調理 石橋 和江 調理 夏秋 正代  
 校務 山中 ふさ子  
 学校医 加藤 正彦 学校歯科医 松本 博司  
 学校薬剤師 赤井 佐和子  
 学校評議員 立道 一蔵様(神屋) 北畑 維久子様(布生)  
 世古口 緑様(国津園) 福田 尚子様(つつじ)  
 学習ボランティア 竹原さよ子様

# 平成25年度国津小学校の学校教育目標



# 具体的な取り組み

<目指す学校像>

子ども・保護者が満足する学校

<学校教育目標>

生き生き にこにこ 国津っ子

<めざす子ども像>

- ・進んで取り組む子 (自主性、積極性、実行力)
- ・仲よくできる子 (思いやり、協力、信頼、人権尊重)
- ・素直で明るい子 (明朗、誠実、健康)

<重点目標>

## 経 営

- ◎児童の課題解決のために教職員、保護者の意思疎通を図り、明るく、温かく、楽しい学校経営・学級経営に努める。その結果、きめ細やかな家庭連絡により意思疎通が図られていると考える児童・保護者の割合が平成24年度末の78%から80%以上に向上するように取り組みを進める。
- ◎これまでの取組の集大成を行うとともに、子どもたちがスムーズに次に移行できるように交流学習の充実を図る。その結果、「教職員が特に力をいれていることを知っている」と感じる児童・保護者の割合が前年度の70%から、80%以上に向上することをめざす。

## 指 導

- ◎基礎的・基本的な学力の向上のために、子ども達の実態・課題をつかみ、職員間で共有するとともに、教材研究を深め、指導方法向上を期して校内での授業研究を活発にする。その結果、平成24年度末には83%であった「わかりやすい授業」を工夫しているというアンケート項目の結果が本年度末には、85%以上になるよう取り組みを進める。
- ◎子ども一人ひとりの状況を的確につかみ、保護者と連携して、個に応じた指導を充実することで平成24年度末には82%であった「意欲的に学習に取り組む子ども」の割合が85%以上になることをめざす。

少人数ならではの教育を基本に、本校の指導の柱を示します。

- 一人ひとりを生かす授業・わかる授業に努めます。
  - ・個に応じて基礎的・基本的事項の定着を図り、学習の進め方を身につけさせます。
- 読書の時間を大切にします。
  - ・多様な図書に触れるため、朝の読書の時間を位置づけます。
- 主体性を育てる活動の充実を図ります。
  - ・自発的に学習できる力を育成します。
  - ・地域の人材・素材を活かした学習や児童会活動、学校行事で主体性を培い、修学旅行やキャンプを子どもたちが力を発揮する場とします。
- コミュニケーション力を育成します。
  - ・学級集団・人間関係づくりをさらに大切にしていきます。
- 教師と保護者の意思疎通を大切にします。
  - ・「子ども・保護者アンケート」を元に、取り組みの改善につなげます。
- 子どもの心を深くつかみ、親身な対応に努めます。
  - ・全職員で一人ひとりの子どもの実態をつかみ、個に応じた指導、支援をおこないます。
- 子どもたちがスムーズに次に移行できるよう努めます。
  - ・交流学習を実施する中で、雰囲気慣れるとともに、やろうという意欲がもてるよう、課題点を明らかにしながら、スムーズな移行ができるよう支援を行います。